

地域の危険度マップ

一之宮地域

危険度マップ・全壊率 凡例

危険度1	0%以上～ 3%未満
危険度2	3%以上～ 5%未満
危険度3	5%以上～ 7%未満
危険度4	7%以上～10%未満
危険度5	10%以上～20%未満
危険度6	20%以上～30%未満
危険度7	30%以上

「危険度マップ」の見方

「危険度マップ」とは、裏面の「揺れやすさマップ」で示した強さの地震が起きたとき、建物の被害予想を「危険度」として表示したものです。地図上には、建物が存在するメッシュ(約50m四方)についてのみ着色しています。

耐震診断・耐震補強工事の助成制度について

高山市では、地震に強い安全なまちづくりを目指すため、市内の建物所有者を対象とした「耐震診断」、「耐震補強工事」の助成制度を設けています。この制度を受けるには、要件がありますので、詳しくは高山市基盤整備部都市整備課までお問い合わせください。

住宅の耐震性について

地震における木造住宅の倒壊率は、古い住宅ほど高く、耐震壁の少なさやバランス配置の悪さ、老朽化等が倒壊の原因であるといわれています。特に、昭和56年5月31日以前に着工している場合や平面の形状が不整形な場合等では、耐震性が低い傾向にあります。心当たりがある方は、専門家による「耐震診断」を受けましょう。

